

令和4年度 大垣市文化事業団事業報告

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

大垣市文化事業団は、市の文化創造に寄与することをめざし、魅力ある事業の実施や適切な施設管理に努めている。スイトピアセンター開設30周年を迎えた令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、①優れた文化芸術の提供、②地域における文化芸術の継承と活動支援、③文化芸術人財の育成を活動の柱として事業を継続して推進した。

自主事業の音楽分野では、ワンコインコンサートとしてフラメンコとピアノの2公演を実施し、市民に公演の機会を提供するとともに、ホール利用の活性化を図った。美術事業では日本画制作と大垣特産のカモミールを用いた染物制作のワークショップを開催し、事後には作品展示を実施した。第2回「水の都おおがき短編小説コンクール」は、引き続き大垣市出身の小説家・中村航を審査委員長に迎え、インターネットで作品を公募し、電子版作品集を発行した。併せて小説の書き方を学ぶワークショップと「小説と映画と大垣」と題したクリエイティブ対談を開催した。新たな試みとして館を出ての事業「国宝大垣城跡を歩く」を開催し、現地で往時の面影をたどった。また、大垣ゆかりの思い出エピソードの募集と展示、市民会館事業として発酵をテーマにした講演会、さらに体験型の「ぶたいうら たんけんたい」ほか、多彩なワークショップを実施した。

受託事業の「大垣音楽祭」や「大垣市芸術祭」は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、一部を変更しながら開催し、市民文化発展の一翼を担った。また、「千住真理子ヴァイオリンリサイタル」および現代美術の展覧会「竹中美幸展」を開催し、県内外から多くの来場者を得た。ポスター展2022では、国際的なグラフィックデザイナー、U. G. サトーの作品を展示した。

指定管理事業の音楽・舞台分野では、トップレベルの公演に触れるプライムコンサートに加え、日本一チケットの取れない講談師として知られる神田伯山の独演会や、「おあむ物語」を素材にした市民創作劇「あかねとおあむ」を上演した。さらに、家族で楽しめるサンリオファミリークラシック、舞台上でのコンサートピアノ演奏体験、バリアフリー事業のダンス&サイレントコメディなど、多彩なジャンルの鑑賞機会を提供した。美術分野では「矢橋六郎と大理石モザイク」と題した市コレクション展および夏休みに親子で楽しめる体験型企画展を開催した。

科学分野では、施設を有効活用して、「秋の星空コンサート」および「ハロウィンコンサート」と題したプラネタライブを開催した。「科学大好きセミナー」では市内企業の協力を得て未来を担う子どもたちに学習機会を提供し、「おもしろ科学教室」、「市民天体教室」などの継続事業も、感染症対策に留意しながら継続開催した。

施設管理については、文化会館・学習館におけるインターネットでの施設仮予約に対応した。併せて、ホームページ上で貸施設行事の予定掲載を従来の当月分のみから2か月先まで確認できるようにするなど、利用者の利便性向上に努めた。市民会館では、グリーンカーテンやコンポストなど SDGs 活動に継続的に取り組んだ。いずれの施設でも新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、適切な運営を行った。

令和4年度 公益財団法人大垣市文化事業団 事業実施一覧表

		(公1) 地域文化芸術の振興、市民の生涯学習の推進を行う事業		30周年 記念事業		
公益目的事業	自主事業	創造都市	音楽	① ワンコインコンサート(2公演)		
			美術	② 美術WS①こどものにほんが おとなのにほんが		
				③ 美術WS②大垣産カモミールと珈琲の染め物		
		文芸	④ 中村航・水の都おおがき短編小説コンクール			
		その他	⑤ 創造都市WS: 国宝大垣城跡をあるく			
			⑥ 令和5年度市民協働事業準備事業「大垣ゆかりの思い出エピソード募集」			
			⑦ 市民会館事業: 発酵講演会			
	社会包摂	舞台	① 舞台WS: お仕事体験「ぶたいうら たんけんたい」			
		美術	② 美術WS③アクションペインティングに挑戦しよう			
			③ 美術WS④消しゴムハンコでスイトピアタウンアート			
			④ 市民会館事業: それいけモザイク! 大お絵かき			
	科学	⑤ 市民会館事業: アサガオワークショップ				
	受託事業	創造都市	音楽	① 2022大垣音楽祭(19公演、うち市民団体23団体18公演)		
			美術	② 開設30周年記念事業: 千住真理子ヴァイオリンリサイタル	○	
	社会包摂	美術	③ 開設30周年記念事業: 竹中美幸展		○	
			① ポスター展2022~U.G. サトーの世界~			
			② 大垣市芸術祭(美術展、文芸祭ほか6事業)			
	指定管理事業	創造都市	音楽	① プライムコンサート2022「THE CLASSICAL LEGEND!!コンサート」	○	
				② プライムコンサート2022「日野皓正クインテット」	○	
			舞台	③ 神田伯山独演会	○	
				④ 市民創作劇	○	
			美術	⑤ 大垣市コレクション展		
				⑥ プラネタライブ		
				⑦ 市民天体教室		
				科学	⑧ おもしろ科学教室	
					⑨ 水のパピリオン活性化事業	
⑩ コスモドーム・サイエンスプラザ常設展						
⑪ 科学大好きセミナー						
社会包摂		音楽	① サンリオ・ファミリークラシック「リボンの国の音もだち」			
			② スタインウェイ&ベーゼンドルファー ピアノ演奏体験			
			③ 音楽WS: うたに親しむ うたを見つける うたを楽しむ			
	舞台	④ ダンス&サイレントコメディ「GABEZ×キャラメルマシーン」				
	美術	⑤ 夏休み企画展「アソビーツ ザ ギャラクシー」	○			
その他	① 施設の貸館事業					
収益目的事業	(収1) 公益目的事業以外の貸館事業					
	(収2) 専用駐車場の管理運営事業					
	(他1) スイトピア友の会事業					

令和4年度 公益財団法人大垣市文化事業団 事業別実施報告書

<公益目的事業>

(公1) 地域文化芸術の振興、市民の生涯学習の推進を行う事業

1. 自主事業

1-1. 創造都市事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
音楽事業	<p>ワンコインコンサート</p> <p>◇スイトピアセンター 音楽堂</p> <p>①Bremen ピアノトリオコンサート</p> <p>◇令和4年11月25日(金) (2公演)</p> <p>②フラメンコ舞踏団 ミ・ソンプレロ</p> <p>◇令和4年12月9日(金)</p> <p>◇入場者数 ①211人(2公演計)</p> <p>②247人</p>	<p>市民らに公演の機会を提供するとともに、スイトピアセンターの活性化を目指すことを目的に、舞台を使った公演の出演者と企画を募集し、ワンコインで鑑賞できる事業を開催した。</p> <p>応募3件のうち、Bremenによるピアノトリオコンサートと、ミ・ソンプレロによるフラメンコ公演の2事業を実施。ワンコインで鑑賞できる気軽さから来場者も多く、出演者とお客様双方からの好評を得た。</p>
美術事業	<p>美術ワークショップ①</p> <p>「こどものにほんが おとなのにほんが」</p> <p>◇令和4年8月7日(日)</p> <p>◇スイトピアセンター 創作実習室</p> <p>◇参加者数 12組(26人)</p>	<p>長谷川喜久(日展特別会員)をメイン講師に迎え、顔料を溶いて作る絵の具と薄い和紙を重ね、色の重なりを楽しみながら日本画の技法を学んだ。制作過程や材料とともにサムホールサイズの完成作品と講師作品による展示を行った。</p> <p>(記録展示: 8月13日~31日、16日間、来場者数: 12,394人)</p>
	<p>美術ワークショップ②</p> <p>「大垣産カモミールと珈琲の染め物体験」</p> <p>◇令和5年3月11日(土)</p> <p>◇スイトピアセンター 料理実習室</p> <p>◇参加者数 15人</p>	<p>大垣が生産量日本一を誇るカモミール(ドライ)のほか、珈琲やハイビスカスティーを煮出し、巾着や紙類を染め、オリジナル作品を制作した。黄色、茶色、ピンク色に染まった巾着や持ち込みの足袋、花瓶など完成作品の展示を行った。</p> <p>(記録展示: 3月12日~26日、13日間、来場者数: 250人)</p>
文芸事業	<p>水の都おおがき短編小説コンクール</p> <p>◇スイトピアセンター スイトピアホール</p> <p>①小説ワークショップ</p> <p>◇令和4年5月28日(土)</p> <p>◇参加者数 29人</p> <p>②中村航×作道雄クリエイティブ対談・表彰式</p> <p>◇令和5年2月23日(木・祝)</p> <p>◇参加者数 58人</p>	<p>大垣出身の作家・中村航を審査員長に招き、水の都「大垣」を舞台とする、あるいは大垣ゆかりのエピソードや物が登場する4,000字以内の短編小説を、プロ・アマ、年齢・性別・国籍・居住地を問わず公募した。入賞作品は電子版作品集としてホームページで公開し、広く市民の閲覧に供した。公募開始前には、中村航による入門的な小説の書き方についてのワークショップを開催し、事後には表彰式と併せて中村航と映画監督・脚本家の作道雄による「小説と映画と大垣~作品作りに大切なことは?」と題した対談を開催して好評を得た。</p> <p>(作品募集: 7月1日~8月31日、応募者数: 37人)</p>
その他事業	<p>創造都市ワークショップ</p> <p>「国宝大垣城跡を歩く」</p> <p>◇令和4年7月9日(土)</p> <p>◇スイトピアセンター~大垣城周辺</p> <p>◇参加者数 20人</p>	<p>城下町大垣のシンボル「大垣城」について、現在の復元天守を観るだけでなく、江戸時代の絵図を参考にしながら歩いて廻り、街並みの中にかつての大垣城の跡をたどった。</p>
	<p>大垣ゆかりの思い出エピソード募集</p> <p>◇募集: 令和4年5月14日(土)</p> <p>~9月25日(日)</p> <p>◇スイトピアセンター 文化会館</p> <p>◇応募点数 42点(39人)</p>	<p>令和5年度の市民協働事業への活用・準備として、題材となる大垣ゆかりの思い出エピソード・写真の募集を行った。募集したエピソード・写真は、パネル展示やホームページで公開し、展示期間の最終日まで、追加エピソードの募集を継続した。次年度事業で活用できるよう、地域題材の掘り起こしを行い、検討を行っている。</p> <p>(応募エピソード・写真の展示: 8月3日~9月25日、113日間、来場者数: 830人)</p>

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
その他事業	SDGs講演会 「ローカリティと発酵in大垣 #ただいま発酵中 公開収録」 ◇令和4年12月18日(日) ◇市民会館 大会議室1 ◇参加者数 60人	発酵デザイナー・小倉ヒラクによる、発酵をテーマとした講演とポッドキャスト「#ただいま発酵中」を公開収録で実施。前半は「ローカリティと発酵in大垣」をテーマに、聞き役は石崎高人(Backpackers' Japan)。後半は「発酵つながりの先賢等」をテーマに、上嶋康弘(奥の細道むすびの地記念館学芸員)をゲストに加えての公開収録。アンケートでは、「地域の発酵食品の種類がたくさんあること、大垣の製造業と密に関連していることが分かった」など評判の良い講演会となった。また、参加者には職員が作成した「発酵関係マップ」を配布し大垣の発酵について関心を深めるきっかけとなった。・配信: YouTube・Podcast 1/29(日)～前半部分、2/1(水)～後半部分①、2/5(日)～後半部分②

1-2. 社会包摂事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
舞台事業	舞台ワークショップ 「ぶたいうらたんけんたい」 ◇令和4年7月29日(金)、30日(土) ◇スイトピアセンター 文化ホール ◇参加者数 43人(定員80人)	普段入ることのない舞台裏の照明や音響の仕事を経験することで、舞台への関心を持ってもらうワークショップを実施。定員に対し参加は半数程度であったが、参加者のアンケートでは「今回のワークショップで、実際に照明や音響機材を操作できて、とても楽しかった。実際に舞台などがある時の裏側(大道具の搬入とか)も見てみたいと思いました」など、好意的な感想が多く寄せられた。
美術事業	美術ワークショップ③ 「アクションペインティングに挑戦しよう！」 ◇令和4年5月14日(土) ◇スイトピアセンター 創作実習室 ◇参加者数 14組(26人)	身近な材料から、美術の楽しみに触れることを目的に、ドリッピングや、スパッタリング、スタンプングといった体を使う簡単な動きから偶然性と相まって作られる形に着目したワークショップを実施。個人制作とともに、大きなキャンバスに共同制作を行い、制作作品の展示を行った。 (記録展示: 5月21日～6月19日、26日間、来場者数: 3, 905人)
	美術ワークショップ④ 「消しゴムハンコでスイトピアタウンアート」 ◇令和4年12月10日(土) ◇スイトピアセンター 創作実習室 ◇参加者数 21人(2回)	オリジナルの消しゴムハンコを作り、スイトピアセンターのある街並みを彩ったり、季節に合わせクリスマスカードを作成したりした。参加者による合作やそれぞれの作品写真の展示を行った。 (記録展示: 12月12日～26日、13日間、来場者数: 230人)
	SDGsワークショップ 「それいけモザイク! 大お絵かき」 ◇令和4年10月9日(日)・10日(月・祝)<2日連続> ◇市民会館 大会議室1 ◇参加者数 延べ10人	会館にはモザイク壁画があり、モザイクの魅力を知る機会として、地域にゆかりのある講師の清水温度(アーティスト)を招きワークショップを開催した。1日目は、大きな台紙にグループごとに相談して下絵を描き、全員で紙を大きめに破いて絵具を作り、色を重ねないように貼り付ける表現手法を楽しく学んだ。2日目はモザイク壁画「花の如く」をみんなで鑑賞し、モザイク壁画の魅力を再発見した。作品を作り上げる過程ではSDGsについても学び、廃材ロール紙を台紙とした大きなモザイク作品を完成させた。 (記録展示: 10月15日～11月6日、19日間/学習館アートギャラリー前通路、来場者数: 3, 113人)
科学事業	SDGsワークショップ 「アサガオの蔓を使ったリース作り」 ◇令和4年9月24日(土) ◇市民会館 会議室および南駐車場 ◇参加者数 8人	会館で地球温暖化対策としてアサガオのグリーンカーテンを設置しており、自然の恵み・モノの大切さを知ってもらえるように職員が講師となりワークショップを実施した。開花時期を過ぎた蔓を参加者でロープから外す体験をはじめ、蔓を好きな輪の形に束ね身近にあるものを工夫して飾りつけ、個性あふれる作品を作った。
事業経費		1,304,303円
諸経費		3,978,423円(人件費)
総費用額		5,282,726円
事業収益額		507,500円
総収入額		514,844円(基本財産運用益・雑収益含)

2. 受託事業

2-1. 創造都市事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所	事業内容
<p>2022大垣音楽祭</p> <p>◇令和4年4月3日(日)～5月29日(日)</p> <p>◇スイトピアセンター 音楽堂・文化ホール</p> <p>◇入場者数 2,447人</p>	<p>合唱や吹奏楽など地元で活躍する演奏家や音楽団体が演奏会を開催するとともに、プロとの共演などを通して、大垣市の芸術文化の振興を図るもの。</p> <p>市民団体による18公演および、プロと地元演奏家の共演するスプリングコンサート1公演の計19公演を開催。3年ぶりに、全ての公演を無事に開催することができた。</p> <p>4月 3日(日) 大垣少年少女合唱団</p> <p>4月 3日(日) NPO法人リトミックGifu</p> <p>4月 9日(土) マリンバアンサンブル4hearts</p> <p>4月10日(日) 大垣市吹奏楽団</p> <p>4月16日(土) The ACT ピアノデュオ</p> <p>4月17日(日) コール・ペアーレ</p> <p>4月29日(金・祝) いつも青春コンサート(出演3団体)</p> <p>4月30日(土) Smile スマイル(出演2団体)</p> <p>5月 1日(日) 大垣グリークラブ</p> <p>5月 4日(水・祝) 音楽の風にのって(出演2団体)</p> <p>5月 5日(木・祝) 合唱団op.1</p> <p>5月 7日(土) 音楽教室アマービレ</p> <p>5月 8日(日) 大垣プラスカンパニー</p> <p>5月14日(土) 音楽を愛する仲間たち</p> <p>5月15日(日) シンガーズクラブ ミューズ</p> <p>5月21日(土) 大垣ギターマンドリンクラブ</p> <p>5月22日(日) スプリングコンサート</p> <p>5月28日(土) かすみの会</p> <p>5月29日(日) coro alba&コールONE(出演2団体)</p>
<p>2023大垣音楽祭 準備</p>	<p>令和4年度に開催する「2023大垣音楽祭」の準備</p>
<p>開設30周年記念事業</p> <p>千住真理子ヴァイオリンリサイタル</p> <p>◇公演: 令和5年3月21日(火・祝)</p> <p>◇スイトピアセンター 文化ホール</p> <p>◇入場者数 501人(定員577人)</p>	<p>スイトピアセンター開設30周年記念として、質の高い文化芸術に親しむコンサートを開催。アンケートでは当日入場者501名のうち360名が回答した。「生の音に感動しました。高音に涙が出そうになりました。すばらしいコンサートでした。また来てください」「アンコール3回もありがとうございました」「千住さんの穏やかな話し方などからお人柄が伺え、また音楽への愛が感じられました。とても素敵な時間が過ごせた。ありがとうございます」など、好意的な感想を多数いただいた。</p>
<p>開設30周年記念事業 竹中美幸展</p> <p>物語はつづく Never Ending Journey</p> <p>◇令和5年2月4日(土)～3月21日(火・祝)</p> <p>◇スイトピアセンター アートギャラリー</p> <p>◇入場者数 5,223人</p> <p>◇関連事業参加者数 ①15組(27人)</p> <p>②5人・15人 ③14,863人</p> <p>④45人</p>	<p>大垣出身の若手現代美術家・竹中美幸の個展を開催し、地域の文化振興を図るもの。展覧会では、故郷での記憶から生まれた近作や奥の細道むすびの地である大垣にちなんだ旅をテーマとした新作、スイトピアセンター30周年にちなんだ新作など、アクリル樹脂やフィルムを素材として使用した平面作品からインスタレーション作品20点を展示。</p> <p>関連事業として、出展作家による①プレワークショップ(令和4年10月30日)や②アーティストトーク(2月4日・25日)、③ワークショップ作品展示(11月26日～3月21日、92日間)、④開場式(2月4日)を実施。</p>

2-2. 社会包摂事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
美術事業	<p>日本国際ポスター美術館所蔵 ポスター展2022～U.G. サトーの世界～ ◇令和4年4月23日(土)～6月19日(日) ◇スイトピアセンター アートギャラリー ◇入場者数 4, 140人</p>	<p>日本国際ポスター美術館(大垣市)の協力を得て、所蔵品の中からテーマを決め、その一部を展示し紹介するもの。美術館の開設時から尽力しているU.G. サトーのデザイン性に優れユーモアあふれる作品113点と映像資料を紹介した。</p>
芸術祭事業	<p>大垣市芸術祭 ◇令和4年10月15日(土) ～12月3日(日) 《一部開催中止》 ◇スイトピアセンター 文化ホール、音楽堂 ◇入場者数 24,987人 (美術展出品数 10,994点) (文芸祭出品数 1,822点)</p>	<p>各種市民団体の成果発表の場として開催するもの。洋楽、邦楽・邦舞、洋舞、拓本展、市民茶会の6つの市民団体事業と、市美術展と市文芸祭の2つの公募展を実施した。新型コロナウイルス感染拡大のため、名石展は中止。</p> <p>第67回洋楽 10月29日(土)、30日(日) 第66回邦楽・邦舞 11月5日(土)、6日(日) 第67回洋舞 11月20日(日) 第32回拓本展 10月29日(土)、30日(日) 第52回市民茶会 10月20日(日) 第71回大垣市美術展 一般の部 10月15日(土)～23日(日) 青年の部 11月5日(土)～13日(日) 幼少年の部 11月19日(土)～27日(日) 第61回大垣市文芸祭 11月27日(日)～12月3日(日)</p>
事業経費		19,450,059円
諸経費		13,178,525円(人件費)
総費用額		32,628,584円
総収入額		32,617,696円(雑収益を含む)

3. 指定管理事業

3-1. 創造都市事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
音楽事業	<p>開設30周年記念事業</p> <p>プライムコンサート2022</p> <p>THE CLASSICAL LEGEND!!コンサート</p> <p>◇令和5年3月25日(土)</p> <p>◇スイトピアセンター 文化ホール</p> <p>◇入場者数 419人(定員548人)</p>	<p>YouTubeでも活躍する若手ピアニストによる演奏に、声優の解説を加え、クラシックに馴染みのない層にも受け入れられるコンサートを開催した。これまで来場が少ない20~40歳代や遠方からの来場者も多い公演となった。</p>
	<p>開設30周年記念事業</p> <p>プライムコンサート2022</p> <p>日野皓正スペシャル・ライブ</p> <p>◇令和4年12月4日(土)</p> <p>◇スイトピアセンター 文化ホール</p> <p>◇入場者数 491人(定員531人)</p>	<p>「プライムコンサート」シリーズとして、例年開催しているクラシック音楽から、ジャズに幅を広げ、新たな客層に音楽を届けることを目的に実施した。</p> <p>通常ツアーのクインテットライブにトランペット三重奏を加え、スイトピアセンター開設30周年事業にふさわしい特別公演となった。</p>
舞台事業	<p>開設30周年記念事業</p> <p>神田伯山独演会</p> <p>◇令和5年3月4日(土)</p> <p>◇スイトピアセンター 文化ホール</p> <p>◇入場者数 571人(定員583人)</p>	<p>日本の伝統芸能のひとつである講談を市民らに広く提供することを目的に開催した。「日本一チケットが取れない講談師」として知られるとおり、反響が非常に大きく、一般発売開始後は10分足らずで完売となった。当日の来場率も高く、期待値も満足度も高い公演となった。</p>
舞台事業	<p>開設30周年記念事業</p> <p>市民創作劇「あかねとおあむ ～この街にさよならを言う前に～」</p> <p>◇令和4年8月27日(土)・28日(日)</p> <p>◇スイトピアセンター 文化ホール</p> <p>◇入場者数 449人(2回公演)</p>	<p>市民参加型事業として、旗揚げ39周年を迎える「劇団芝居屋かいとうらんま」15名と公募した市民キャスト・制作スタッフ、10歳~80歳までの25名が共に、郷土大垣を題材にした舞台を創り、公演を行った。練習期間中、新型コロナウイルス感染の影響を受け、本番の実施が危ぶまれたが、感染対策を徹底し、無事公演を実施することができた。</p> <p>(稽古等期間:33日間(6月25日~26回の練習、6日間の舞台準備)、参加者延べ人数952人)</p>
美術事業	<p>大垣市コレクション展</p> <p>「矢橋六郎と大理石モザイク」</p> <p>◇令和4年10月8日(土)~12月11日(日)</p> <p>◇スイトピアセンター アートギャラリー</p> <p>◇入場者数 4,714人</p>	<p>大垣市の所蔵する美術品の中から、大垣市赤坂町出身で、自由美術家協会やモダンアート協会の創立など近代絵画史上意義深い業績を残した洋画家矢橋六郎を取り上げ、抽象と具象のバランスに独自の表現スタイルを見出した画家の作品とともに、日本各地に100以上の作品を残した大理石モザイク作家としての活動を紹介した。</p>
科学事業	<p>プラネタライブ(全2回)</p> <p>◇スイトピアセンター コスモドーム</p> <p>◇入場者数 延260人(定員各130人)</p> <p>①令和4年9月24日(土)</p> <p>秋の星空コンサート</p> <p>アコースティックデュオ e i l e</p> <p>◇令和4年10月22日(土)</p> <p>②ハロウィンコンサート</p> <p>大友玲子&山下真理</p>	<p>プラネタリウムを有効活用し、宇宙科学を身近に楽しめる事業を開催した。</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年急遽中止となったe i l eの公演を実施した。出演者側が積極的に事業PRを新聞社などにおこなったため大きな反響を呼び、チケットが完売した。</p> <p>②出演者が2014年・2018年と今年で三度目の公演となり、大垣市かがやき成人学校の講師を務めたこともあって、たくさんの生徒らが集まり満席となった。</p>

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所	事業内容
市民天体教室 (夜) 計12回実施 (昼) 計65回実施 ◇子どもサイエンスプラザ4階天体観測室 ◇参加者数 延1,387人	昼の天体観測では、天体望遠鏡で多くの参加者に黒点やプロミネンスを見ていただいた。また、当日撮影した太陽の写真などをプレゼントし記念ができた喜んでいただいた。 夜の市民天体教室では、本年度より有料で実施することとなったが、応募開始10分ほどで満席となる月があるなど、多くの方に来場していただいた。すべての月で予約段階では満席となった。
おもしろ科学教室 ◇年12回(令和4年5月～12月 日曜日) ◇子どもサイエンスプラザ2階工作室、 創作実習室 ◇参加者数 延228人(定員各20人)	科学的な原理について実験などを通して学び、科学教育増進の一環とした。毎回、モデル等を使っての演示実験等を行ったり、製作物のしくみを分かりやすく解説したりすることで、参加者の意欲を高め、科学の見方・考え方の向上につなげた。 特に、自動車ロボットやドローンの教室は、非常に好評であった。
水のパビリオン活性化事業 ◇令和4年4月1日～令和5年3月31日 ◇スイトピアセンター 水のパビリオン ◇入場者数 94,398人	市民環境保護団体による西美濃の自然、生物、植物に関する展示を行うことにより、ふるさとの自然、生物に興味関心を持っていただく機会とした。新型コロナウイルスの感染拡大によって来館者が減り、学校からの団体予約も少なく、コロナ前の入館者数にはまだ戻っていない。
科学事業 コスモドームギャラリー ・子どもサイエンスプラザ常設展 ◇令和4年4月1日～令和5年3月31日 ◇コスモドームホワイエ ・子どもサイエンスプラザ1階 ◇入場者数 126,082人	コスモドームギャラリーは、主にコスモドーム上映や市民天体教室の開始前に見ていただいている。自分の誕生月に関わる星座の様子や、季節の星雲・星団などに足を止める方が多い。また、大型モニターでは「今月の星空情報」などを動画として流した。 子どもサイエンスプラザでは、SLマニアの方や列車好きの親子が写真を撮る姿がみられた。
科学大好きセミナー(全5回) ◇スイトピアセンター 創作実習室 子どもサイエンスプラザ工作室 ◇参加者数 延120人 ①カブトムシ博士になろう ◇令和4年5月22日(土) ②ようこそ、極低温の世界へ ◇令和4年7月31日(日) ③国際宇宙ステーション ◇令和4年7月28日(木) ④君も科学捜査員 ◇令和4年8月25日(木)《開催中止》 ⑤SDGs 風をエネルギーに ◇令和4年8月26日(金)《開催中止》	市内企業の協力を得て、未来を担う子どもたちに多彩な学習体験の機会を提供するもの。全5回を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大のため、2回が中止となった。 ①川瀬泰孝氏(植倉造園)による「カブトムシ博士になろう」を実施した。家庭で飼育できるよう、虫かごにカブトムシの棲み処を作った。 ②大洋化学工業株式会社・株式会社大合商会による「ようこそ極低温の世界へ」を実施した。液体窒素で、花が凍る実験をしたり、雲ができる現象を体験した。 ③小林亮二氏(JAXA)による宇宙ステーションに関する講演をプロジェクターの映像を交えて聞いた。親子での参加、クイズを盛り込み、低学年でも楽しめた。 ④イビデンエンジニアリング株式会社による「犯人を見つける」教室を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。 ⑤太平洋工業株式会社によるペットボトルを使った「風力発電」教室を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。

3-2. 社会包摂事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
音楽事業	サンリオファミリークラシック ◇令和4年9月11日(日)2回公演 ◇スイトピアセンター 文化ホール ◇入場者数 1,038人 (定員1,094人)2回計	例年実施しているファミリーコンサート。新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く時期でもあったため、声を出さずに静かに鑑賞できるクラシックコンサートを実施した。販売期間中に、国内や岐阜県内において、感染者数が過去最大となるコロナ禍真っ只中にあったが、チケットは完売に近く、ファミリー向け公演の需要の高さが見られた。文化庁による、文化芸術活動再興支援事業「文化芸術振興費補助金」の交付を受けた。
	スタインウェイ&バーゼンドルファー演奏体験 ◇令和4年7月25日(月)、27日(水)、28日(木) ◇スイトピアセンター 音楽堂 ◇入場者数 22組(39人) (定員24組)	舞台上でコンサートピアノを演奏する体験の場を設けるとともに、スイトピアセンターへの来館を促し、事業に興味関心をもってもらうことを目的に実施した。主に子どもの参加を想定していたが、大人の申し込みもあり、親子で演奏する姿も多かった。単にピアノを弾くだけでなく、演奏に合わせて歌ったりダンスをしたり、さらにCDを持ち込み音楽に合わせて演奏したり、発表会のように衣装を着て参加したりするなど、さまざまな楽しみ方が見られた。
	音楽ワークショップ「うたに親しむ うたを見つける うたを楽しむ」 ◇令和4年7月31日(日)2回実施 ◇スイトピアセンター スイトピアホール ◇参加者数 13人(定員40人)	大垣市出身の女優・小林ゆず子(オペラシアターこんにゃく座)が講師となり、90分の体験型ワークショップを開催。定員に対し、半数以下の参加者という低い集客率となってしまった一方、参加者からは「今回のワークショップが、とても楽しかったです。お芝居体験や腹話術なども、体験したいなと思います」「とてもよいワークショップでしたが、1組だけの参加でしたので、自分たちのためだけに申し訳なかったです。非常に楽しいワークショップでした。ありがとうございました」との好意的な声をいただいた。
舞台事業	ダンス&サイレントコメディ GABEZ×キャラメルマシーン ◇令和4年6月12日(金) ◇スイトピアセンター 文化ホール ◇参加者数 255人(定員547人)	幅広い層の方々に楽しんでいただける「多文化共生型」バリアフリー事業として企画。2020年東京オリンピックの開会式でピクトグラムのパフォーマンスを披露し、話題となったGABEZのダンス&マイムコメディと、幼稚園でのキッズショーから若者向けのお笑い番組・ライブ、高齢者対象の浅草や国立演芸場での寄席など幅広い世代に向けて活動をしているキャラメルマシーンによる笑って学べる新世代サイエンスマジックショーを開催した。
美術事業	開設30周年記念事業 夏休み企画展「アソビーツ ザ ギャラクシー」 ◇令和4年7月16日(土) ～8月31日(水) ◇スイトピアセンター アートギャラリー ◇入場者数 10,772人 (有料エリア:9,493人)	夏休みに「アート×サイエンス」をテーマとした親子で楽しめる体験型展覧会を開催。映像と音楽により、身体を使って遊べるデジタルサイエンスアトラクションの8アイテムとピカピカ光るスライム作りワークショップを実施。コロナ禍に加え、天候が不安定な日が多かったこともあり、室内で安心して遊べる場を望む声は多く、予想を上回る有料入場者数があった。
事業経費		29,735,550円(事業共通経費を含む)
諸経費		31,454,405円(人件費)
総費用額		61,189,955円
事業収益額		65,550,400円(雑収益、指定管理料を含む)
助成金・補助金・協賛金		4,219,000円
総収入額		69,769,400円

4. 学習館科学施設運営事業

事業名	事業内容
こどもサイエンスプラザの運営事業 ◇入館者数 87,100人	学習館科学施設3施設「こどもサイエンスプラザ」、「コスモドーム（プラネタリウム）」、「水のパビリオン」の管理運営事業。
コスモドームの運営事業 ◇入場者数 12,994人	
水のパビリオンの運営事業 ◇入場者数 94,398人	
総費用額	32,043,952円
総収入額	27,814,882円

5. 貸館事業

事業名	事業内容
公益目的事業の貸館事業 ◇利用回数 文化会館・学習館 3,809回 市民会館 7,133回	文化会館・学習館及び市民会館の貸館事業。
陶芸窯利用認定講習会 ◇令和4年11月12日（土） ◇スイトピアセンター 学習室3-1、窯場 ◇参加者数 5人	利用者に陶芸窯の安全な取扱いを理解していただくための講習会を開催。 〈利用認定期間 3年〉
総費用額	262,587,159円
総収入額	265,640,299円

<収益事業等>

(収1) 公益目的事業以外の貸館事業

事業名	事業内容
公益目的事業以外の貸館事業 ◇利用回数 文化会館・学習館 162回 市民会館 270回	文化会館・学習館及び市民会館の貸館事業。
総費用額	11,215,745円
総収入額	13,954,866円

(収2) 専用駐車場の管理運営事業

事業名	事業内容
スイトピアセンター専用駐車場の管理運営事業 ◇駐車利用台数 150,834台	スイトピアセンター専用駐車場の管理運営事業。
総費用額	17,522,437円
総収入額	31,267,143円

(他1) スイトピア友の会事業

事業名	事業内容
スイトピア友の会事業 ◇会員数 一般会員（395人／456口） 法人会員（36社／38口）	情報誌「スイトピア・ドロップス」を年4回発行し、会員への情報発信を随時行うとともに、会員サービスとして、チケットの先行予約・割引、協力店での特典利用を実施した。
総費用額	2,134,315円
受取入金	1,212,000円
総収入額	2,935,000円

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。